

令和四年度を 振り返って

PTA会長 鈴木 広章

本年度のPTA活動も終盤を迎え、総括をする時期となりました。

PTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には、PTA活動に参画いただき、ご理解と協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

卒業する三年生にとつては、コロナ禍により、制限された中学校生活三年間でした。友人の素顔を見る機会も多くな、部活動や修学旅行、総合発表会にも大変な運営を余儀なくされました。そんな制限も無くなりなりました。卒業生は高校生活で、在校生は今後の中学生活で、これまでの我慢を自分の夢や目標を叶える力に変えてください。

本年度のPTA活動は、感染症流行前の活動を再開しました。必要な事業の選択を次年度に行うこととなります。今後、生徒数の減少により役員を選出は困難になると思います。持続可能な形でPTA活動がより良い変革を遂げるよう祈念します。一年間ありがとうございました。

惚れ込んでしまった

学校長 浅原 昭久

そう。中三の彼が中一の時だ。ふらっと校長室に来て言った。「校長先生、スキー結構やるんだってね。でもインストラクターが言ってたよ。あれは昔の滑りだつて。まだまだだねえ」「ええ！。ななで上から目線で彼に言われなきゃいけないんだ。ムカムカしてきた。自信があつたスキーだけに。その冬、大学以来の親友にスキー動画を撮ってもらつたらホントに昔の滑り。情けない。それ以来、燃えた。密かにスキーに通い詰めた。お陰でパラレルも安定し、この冬は兎平のコブもほぼ滑れるようになった。彼に感謝。

白馬への任地居住のため、たまに青鬼やどんぐりの上まで走った。白馬はどこからも三山が美しく爽快。最高に気持ちよい。

多様で未来的な人とたくさん出会った。子どもも保護者も温かく素敵な方ばかりだった。本当に白馬に魅せられ惚れ込んでしまった。ただただ、白馬の自然、人、すべてに感謝の思いだ。幸せだなあ。心より、ありがとうございます。

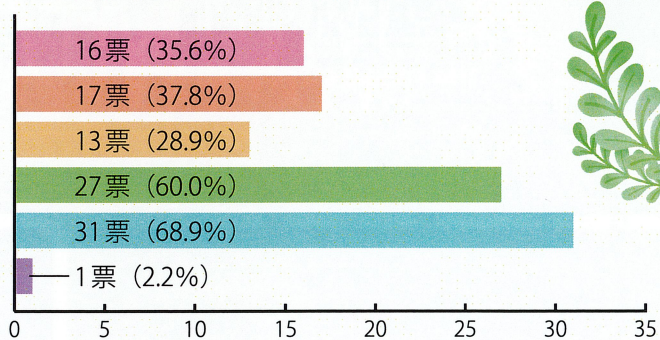
全校アンケート

白馬中の生徒の装い

～時代にあわせて変わっています～

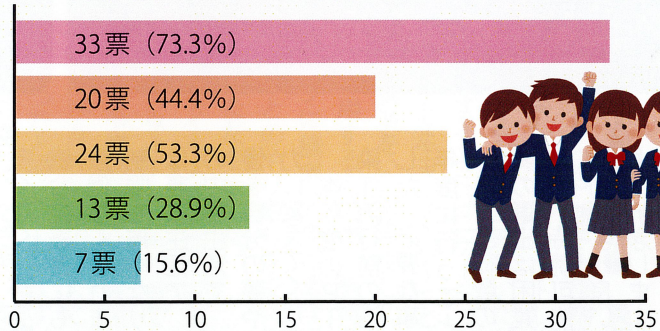
Q1 新制服になって、良いと思うことはどんなことですか？

デザインが変わり、印象が明るくなった
 リボンやネクタイを自分に合わせて選べるようになった
 スカート、ズボンを自分に合わせて選べるようになった
 くつ下の色が白以外も選べるようになった
 セーターやカーディガンを着ても良くなった
 特に変わらない



Q2 スーパークールビズが始まって、良いと思うことはどんなことですか？

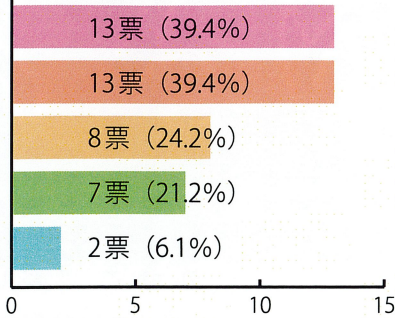
涼しく快適に過ごせるようになった
 洗濯が楽になった
 ポロシャツやTシャツを選べるようになった
 着替えが減って楽になった
 SDGsを意識できるようになった



スーパークールビズ中の子どもたち

Q3 服装の決まりが変わって、困ったことはありますか？

Tシャツが、どこまで認められるか分からない
 くつ下が、どこまで認められるか分からない
 どんなものを買って良いのか分からない
 買い物が増えた
 特にない



その他の回答

- 説明が不十分で、何を着て良いか分からなかった。
- お便りではなく、めだつところに明確に記載して分かりやすくしてほしい。
- 体操服で過ごしてよくなったが、体育の授業後もそのままの服装でいるのは衛生的に心配。
- 冬にカーディガンを着ることが認められたが、それでも寒いと言っている。
- 体操着を毎日着て行っていたが、体操着の白Tシャツが1枚しかないので困った。

Q4 服装の決まりが変わったことについて、何かご家庭でのエピソードがあれば教えてください

- うちの子どもは、首回りにアトピーがあるので、普段の学生服だとカラーがあたり、ずっと痛がっていましたが、今回セーターなどが許され、快適に学校生活が送れています。
- セーターやカーディガンを着用できるようになったことで冬の寒さ対策になったようです。ベストよりとても適切な対応だと思いますが、一方で形など何でも大丈夫！と子ども達も保護者の認識もバラバラな感覚なのが気になっていました。
- すでに卒業している姉に羨ましがられました。

- 新制服を購入するにあたり、旧制服のおさがりを用意していたのですが、予定外の出費が増えてしまいました…。
- 靴下の色が白じゃなくても良くなって、本当に助かりました。白はすぐ汚れるし、汚れも取れにくいので。
- 履ける靴下の幅が広がりましたが、部活動で使っている靴下がブランドロゴの2ポイントのものが多く、それが認められれば学校生活と部活動の間の着替えがさらにスムーズになるね、という話を子どもとしました。

上記以外にも、様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。

広報部ころゆりの発行に際しましては、たくさんの方々にご協力頂き、感謝申し上げます。私自身、普段なら出来ない経験をさせて頂き、楽しく活動することができました。

なつてよい、寒さ対策(カーディガン・セーターを着られるようになった)など、好印象の意見が多くありました。スーパークールビズに対しては、学校での決まりがよくわからない、わかりにくいという意見がたくさんありました。学校へ、来年度にむけて提案させていただきます。貴重な御意見ありがとうございました。



ころゆり編集会議

PTA広報部部长 佐々木 知子
 この度は、アンケートに御協力いただき、ありがとうございます。新制服、スーパークールビズに対する大変貴重な御意見を知ることができました。

新制服については、お下がりを用意していたが予定外の出費が増えた。という意見もありました。デザインが明るく



新制服の導入によって着こなしの幅が広がる子どもたち

春・秋の街頭指導

校外生活指導部部長 吉川 真弓
校外生活指導部長として、一年間務めさせていただきました。

地区生徒会への参加や道路清掃・交通安全街頭指導、夏祭りの巡回等の活動を行いました。

交通安全街頭指導は春と秋の年二回行い、私は森上信号を担当しましたが、車・歩行者ともに交通量の多い中、交通ルールを守って登下校する姿が見られ、貴重な経験ができました。初めてのPTA役員で分からないことがたくさんありましたが、PTA会長をはじめ役員の皆様や各地区の校外指導部の皆様、先生方のご協力により無事に活動を終えることができました。本当にありがとうございました。

大北PTA連合会研究協議会

学年学級代表部部長 林 理恵子
美麻小中学校にて、三年ぶりに開催された表記の会に、参加してきました。

私が参加した分科会は、大町南小学校PTAの「子どもの健康・安全」についてでした。三年ぶりに参加してきましたが、有意義な時間を過ごせ、良かったです。

この一年、学年学級代表部部長として活動してきました。コロナ禍で制限された中での活動となりましたが、皆様のご理解とご協力をいただき活動することができました。初めての経験で至らないことが多くあったかと思いますが、ありがとうございました。

親子人権講演会

PTA副会長 加藤 美保
昨年十一月十日(木)親子人権講演会が開催されました。メンタルトレーナーの加藤史子先生にお越しいただき、「夢を実現するコミュニケーション術」多様な社会を生き抜く力」というテーマでご講演をいただきました。

プラスに作用する心の声、気持ちをポジティブに誘導する方法などを、生徒たちとのやり取りを交え楽しく教えていただきました。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中でスタートした今年度でしたが、学校生活や学校行事に昨年度ほど多くの制限がなく開催できたことはとてもよかったですと感じております。PTA活動に協力いただき、支え

ました。



給食試食会・PTA作業

施設厚生部部長 中尾 光枝

今年は昨年に比べPTA活動も緩和され、PTA作業と給食試食会がともに行われました。試食会は不安もありましたが、広い場所を用意していただき職員を含め15名と少人数で安心して行うことが出来ました。黙食の為、意見交換等は行われず残念でしたが、給食センターの伊藤教諭の話を伺いながら、栄養バランスのとれた美味しい給食をいただきました。

PTA作業は、お天気が悪く校内の窓ふきに変更されましたが、大勢の方が草刈機を持参して作業してくださいました。お世話になった先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。



ていただきました役員、先生方、保護者の皆様に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



白馬村四校PTA

PTA副会長 飯森 洋一

十一月十八日白馬南小学校にて「白馬村PTA連合会連絡協議会」が開催されました。白馬村内の「白馬南小・白馬北小・白馬高校・白馬中学」四校のPTA正副会長・校長教頭先生・事務局が集まり村・教育委員会・警察署・交通安全協会への要望・当面の諸問題についての協議と、各PTAとの情報共有がされました。南北小学校では百五十周年を迎えるにあたり準備を進めていること。白馬高校では特色ある教育を進めていることこの現状を含めて伺いました。副会長になって初めて知った会ですが、村内の子供達のためにPTAは一つになって安心安全で前向きな環境を整えて行く必要を感じました。

編集後記

今回のくらゆりでは、初の試みとして保護者アンケートを実施いたしました。いかがでしたでしょうか。アンケート、原稿等にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。少しでも多くの人に見ていただけるPTA広報を目指して、来年度以降も作成して参りたいと思います。